

## ○健全な経営に関する対応（手法）はどうあるべきか

【市町村長アンケートとりまとめ意見を踏まえた議論のたたき台】

### ① 人口減少等に伴い懸念される使用料収入減

#### 《市町村長アンケート取りまとめ意見》

- ・ 汚水処理施設の効率的な整備ならびに施設の適正な維持管理を推進していくなかで、持続的・安定的な汚水処理施設事業の経営を図る必要があるが、今後予想される人口減少社会の到来に伴う使用料収入の減少が懸念される。

### ② 適正な使用料設定への住民理解

#### 《市町村長アンケート取りまとめ意見》

- ・ 使用料金については、住民理解を得ることで、適正な価格を設定する必要があるが、困難な場合が多いことが課題であり、現状としても、一部、一般会計の繰り入れを行っている。

#### 《浄化槽の現状・取り組み》

- ・ 個人により設置された浄化槽の維持管理費用は、全額個人によって支払われている。
- ・ 市町村により維持管理の費用が支払われ、利用者から使用料として徴収するのが一般的であり、使用料は下水道事業等と同様に設定されるものが多い。

### ③ 経営計画の策定と国の財政支援

#### 《市町村長アンケート取りまとめ意見》

- ・ 経営基盤を強化し、安定的な経営を実現するため、適正な使用料収入の他、経営計画の検討・策定、国の財政支援※が必要である。

#### ※主な具体例

- ・ 高齢者世帯の接続を支援する財源制度
- ・ 人口減少が著しい市町村への財源支援
- ・ 維持管理費に対する財政支援

#### 《浄化槽の現状・取り組み》

- ・ 循環型社会形成推進交付金の中で、施設整備の計画に要する費用が国庫助成の対象になる場合がある。

#### ④ 早期の接続率向上による安定的使用料収入の確保

##### 《市町村長アンケート取りまとめ意見》

- ・ 汚水処理施設事業に要するコストの縮減とともに、早期の接続率向上を適正に図り、使用料収入を安定的に確保していくための方策を検討することが重要な課題となっている。

#### ⑤ 民間活力導入、施設統合等による維持管理業務のコスト縮減、効率化

##### 《市町村長アンケート取りまとめ意見》

- ・ 施設が老朽化し、維持管理費や修繕費が増加する中、適正な維持管理も含め、包括的民間委託などの民間活力の導入も含めたコスト縮減を一層図り、持続的で安定的な経営を図る。また、汚水処理施設の統合を進め、維持管理業務の効率化とコスト縮減を進める。

##### 《浄化槽の現状・取り組み》

- ・ PFI 事業を行い、民間事業者の事業活動として浄化槽の整備推進を図っている自治体がある。

(浄化槽の PFI 事業は、いわゆる BTO 方式 (Build, Transfer, Operate) で、民間事業者が施設を建設した後、その所有権を公共に移転し、施設の維持管理を民間事業者が行う方式を対象。現在、11 市町村で実施) (第 4 回委員会資料 2 「適正な維持管理を確保するための手法はどうあるべきか」の資料再掲)